

# 令和4年度病害虫発生予察情報 注意報第2号

令和4年4月4日  
岩手県病害虫防除所

## りんごの生育が進んでおり、黒星病の早期感染が懸念されます。今後の天候に注意し、適期に防除しましょう。

- 1 対象作物、病害虫 : りんご、黒星病
- 2 対象地域 : 県下全域
- 3 発生時期(感染時期) : やや早
- 4 発生量 : 多
- 5 予報の根拠
  - (1) 前年発生量は平年より多く、本年の伝染源密度は前年発生地域で特に高いと考えられる(図)。
  - (2) 近年は、本病の感染に好適な気象条件が開花始よりも早く出現し、散布適期を逃す年が続いている。
  - (3) 発芽予測日(3月31日時点)は、県平均で4月5日(平年4月7日)であり、平年よりやや早いと見込まれる。
  - (4) 向こう1か月の気温は平年より高く(3月31日、仙台管区气象台発表)、早期感染が起こりやすい状況にある。
- 6 防除対策
  - (1) 重点防除時期である開花7~10日前及び開花直前に、EBI剤もしくはカナメフロアブルを散布する。なお、両剤は降雨直後に散布すると効果的である。
  - (2) 散布ムラが無いように十分量を丁寧に散布する。
  - (3) 耐性菌の発達を防ぐため、落花期以降は黒星病を対象としたEBI剤やSDHI剤の使用を避ける。
  - (4) 発病葉や発病果は二次伝染源となるので、速やかに摘み取って園地外へ持ち出し、地中に埋没させる等して処分する。
  - (5) 苗木を定植する際は、頂芽のりん片で越冬している可能性があるため、必ず頂部を切り返す。
  - (6) 苗木及び未結果樹も成木と同様に防除を徹底し、発病葉は速やかに摘み取って処分する。

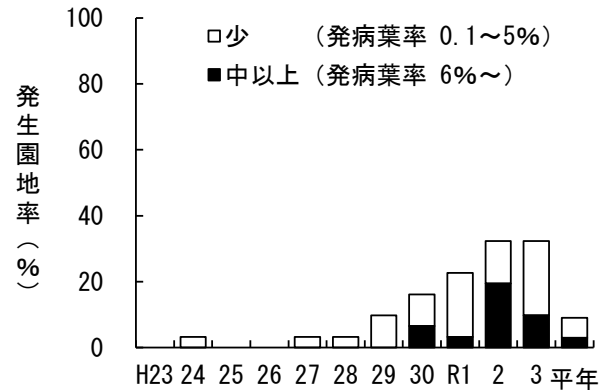


図 黒星病(葉)の発生園地率の年次推移(年間評価)



写真1 果そう葉の葉裏病斑



写真2 果実病斑

### 【利用上の注意】

本資料は、令和4年4月1日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・ 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・ 農薬使用の際は(1) 使用基準の遵守(2) 飛散防止(3) 防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

